

出版記念講演 複雑述語の類型論的考察

芝垣 亮介 (SHIBAGAKI, RYOSUKE)
(南山大学・講師)

要約：

本発表では二点の主要なテーマを扱う。第一に、複雑述語に関する問題として多くの言語学者が挑戦してきた中国語の連動詞構文(V-V)の再分類を行う。ここでは、いわゆる結果構文として扱われてきた様々なタイプの連動詞を語彙意味論・統語論の観点から複雑述語と複合動詞に分類し、各タイプの統語構造を示す。その後第二のテーマとして、英語、日本語、中国語、モンゴル語、韓国語を用い、複雑述語構文における二次述語の解釈の仕方を時制投射の有無と関連付けて説明し、その解釈の仕方を二元的なパラメーターで捉えられることを提案する。

Shibagaki, Ryosuke (2013). *Analysing secondary predication in East Asian languages*. Newcastle, UK: Cambridge Scholars Publishing.の出版記念講演です。

日程：2013年7月18日（木曜日）午後6時15分～午後7時45分（6コマ目の授業時間帯）
場所：名古屋大学全学教育棟・北棟405号室 <参加自由・無料>

コンタクト：名古屋大学 玉岡賀津雄 ktamaoka@lang.nagoya-u.ac.jp